

# 畜大だより

OBIHIRO UNIVERSITY OF AGRICULTURE AND VETERINARY MEDICINE

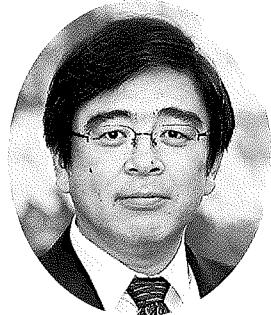
2014. 4. 1



## 目 次

<b>新入生諸君へ</b>	学 長	長 澤 秀 行	1
<b>課程・別科紹介</b>	共同獣医学課程	教授 大 石 明 広	2
	畜産科学課程	教授 辻 修	3
	別 科	教授 佐 藤 穎 稔	4
<b>在 来 生 所 感</b>	共同獣医学課程	2年 前 潤之介	5
	畜産科学課程	2年 佐々木 拓也	5
	畜産科学課程	2年 岩 木 夏 海	6
	別 科	2年 結 城 歩 美	6
<b>学 务 課 カ ら</b>	学位記並びに修了証書授与式が行われる		7
	飲酒について		8
	交通事故防止		9

新入生諸君へ



# 「入学おめでとう」

学長  
長澤秀行

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。今年も全国各地から、それぞれの夢と希望をもってこのキャンパスに来られました。本学の特色ある教育研究への期待、動物・植物を身近に置いたフィールド教育研究、北海道あるいは雪国への憧れ、単に親元を離れたい、大蝦夷畜産大学への興味などなど、動機は多岐にわたると思います。今一度、新たな目標を設定して有意義な学生生活を送ってください。すべての教職員は、皆さんが有意義な学生生活を送れるよう、支援を惜しません。

さて、「知の創造と実践によって実学の学風を発展させ、『食を支え、くらしを守る人材の育成』を通じて、地域および国際社会に貢献する。」これは、中期目標計画に掲げた本学のミッションです。このミッション達成に向け、本学は「学際」「実学」「国際」の要素を備えた教育プログラムによる「畜大型グローバル人材の育成」を目指しています。

まず、「学際」とは学術の新領域を意味します。学術領域Aと学術領域Bが融合して、新たな学術領域C、いわゆる「学際領域」が形成されます。人材育成の面では、一つの専門領域に特化するのではなく、関連する専門領域あるいは異なる専門領域と連携しながら教育研究を進めることにより、グローバルな視点で物事を捉えることのできる人材の育成が可能になると想っています。農場から食卓に至る過程で、様々な課題が起きている今日において、あるいは複雑化した社会において想定外の出来事が起り得る今、困難な課題に適切な対応ができる「食を支え、くらしを守るグローバルな人材育成」は喫緊の課題と言えます。

「実学」とは、農家、企業あるいは社会の実情を把握し課題解決に向けて、自ら手を動かして知識と

技術を学ぶことです。単なる机上の知識ではなく、身を持って体験することで、講義による知識や実習による技術・作業工程の意味を深く理解することが可能となります。将来、皆さんのが進む様々な現場では、何が必要で、何が課題となっているのかを知ることが必要です。大学周辺の広大な十勝平野には、「実学」を支えてくれるフィールドが豊富に存在しています。大学の内外で、自ら汗して「実学」を学んでください。

「国際」は、一般的には英語が堪能で、グローバル・マネジメントができ、海外と高度なビジネスが可能な人材育成に必要な要素と捉えられています。しかし、本学における「国際」は、「One World, One Health.」の視点を持つことのできる「食を支え、くらしを守る人材育成」のための要素としています。グローバル化社会において、人と食料が世界中を行き来し、世界の国々との時間的距離は縮まりました。これに伴い、「安全と安心」の基準も、国際水準が求められるようになりました。農学、畜産科学、獣医学の分野においては、特に「国際」のキーワードは必須なものと考えています。

以上、「学際」「実学」「国際」を要素とする「畜大型グローバル人材の育成」がこれから始まります。これから的学生生活において、生命・食料・環境分野の専門知識、社会に通用する教養、社会情勢の変化や諸課題に対応可能な応用力やコミュニケーション能力を身につけ、人間的に大きく成長されることを期待します。

皆さんが、初心を忘れず、志を高く持ち続け、日々学業と課外活動に全力投入して行動し、悔いを残さない充実した学生生活を送られることを祈念いたします。

## 課程紹介



教授  
大石 明広



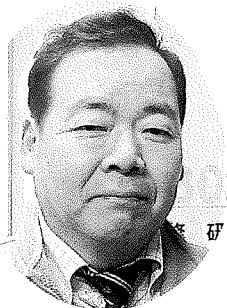
共同獣医学課程に入学された新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんは、今、入学したことへの安堵感とこれから始まる大学生活への期待感、一方で獣医師になるために6年間学んでいくことへの不安感、そういう複雑な心境の中にいることでしょう。もしも、何だか訳の分からぬ緊張感を感じているのなら、それは皆さん自身のモチベーションが高く維持されているという証拠です。このままモチベーションを下げることなく我々とともに一歩ずつ獣医師を目指して前へ進んで行きましょう。

共同獣医学課程は一昨年にスタートして今年がやっと3年目に入ったところです。国際的にも見劣りしない高水準な獣医学教育を目指して始まりましたが、これまで以上に教育内容の量が増えたというわけではありません。カリキュラムに少々手を加えて教育のやり方を整備したというのが実際のところでしょう。ですから、卒業までに学ばなければならぬトータルの内容量は旧課程の先輩方とそれほど大きな差はないのです。しかしながら、授業や実習がこれまでよりもずっと細分化されたために、皆さんが習得しなければならない単位数というものが格段に増えています。単位数が増えたということは、講義や実習の時間が増えることに加え、これらに関わる予習・復習の時間も増えているということです。そうすることで、皆さんには旧課程の先輩方よりも一層確実に獣医学の知識や技能を習得してもらおうという算段なのです。実は、このような教育制度の見直し傾向は日本中の獣医系大学で期を同じくして実践されていることですから、帯広畜産大学だけが特別に高度な教育をしているというものでもありません。我々が目指すところは、国際的に認知された教育体制のもとで獣医学教育を行い、社会において国際的レベルの獣医師として大いに活躍できる人材へと育てていくことにあります。

でもそれだけではありません。北海道の寒い北の大地に在って広大な十勝の農畜産地帯に囲まれている帯広畜産大学では、他の大学では体験できないようなことがいっぱい体験できてしまいます。本学が掲げる畜獣連携という考え方の中で、皆さんは畜産に貢献する獣医師たるべき姿とは何かを考えようになるでしょう。地域社会の人々、また多くの動物に触れることができることで、本学が使命とも考えている実学を思う存分に学びますから、体験的に知識や技術を習得できることに気づくでしょう。そして皆さんは、人と動物の共生が如何に重要であるかを理解し、動物の病気や健康についての幅広い知識を少しずつ蓄積していくことになります。野生動物、産業動物、そして伴侶動物など、多くの動物と人の関わりについて広い視野で捉えられるようになると、獣医師がどのようにして人の食を支え、人の生活（暮らし）を守っていったらよいのかと考えようになるでしょう。このように、本学で用意されているたくさんの教育スペースが加えられて、皆さんはひと味違った帯広畜産大学風味の獣医師となっていくのです。これこそが我々共同獣医学課程の目指すグローバルな人材作りの教育ということに他なりません。

からの6年間、皆さんの学生生活はハードな勉学生活となるでしょうが、まったく余裕がないわけでもありません。できることなら、多くの友達を作ったり、アルバイトしたり、サークル活動に精を出したり、少しでも自分が楽しくいられるように日々の生活を送ってください。皆さんがそれぞれに目標とする獣医師像を少しずつ具体化しながら、卒業時に獣医師のスタートラインに立つ自分の姿を想像してみるのもいいかもしれません。明るい未来に向かって充実した学生生活を送ってもらえたと願っています。

## 課程紹介



### 教授 辻

本学をめざし、受験を勝ち抜いて今日ここにいる新入生の皆さん、入学おめでとうございます。そして、これまでその受験生を支えてきたご家族の皆さんにも心からお祝いを申し上げます。

今年は、春も遅くここ帯広ではこの原稿を書いている外は、たくさんの雪が残っています。しかし、皆さんがこの記事に目を通すころは、周りの雪解けも進み、合格の喜びと受験戦争からの解放にわが身をゆだねているのではないでしょうか。しかし、それもつかの間、入学式が終わると、大学の講義が始まります。もうそろそろ、合格気分から抜け出し、大学生活の準備に入ってもらいたいと思います。

皆さんもご承知の通り、本学は、実学重視のカリキュラムをとっています。そのもっとも代表的なものが、全学実習です。全学実習とは、本学のポリシーである「農場から食卓まで」のまさに実践教室です。作物分野では畑の土つくりから始まり種まき、夏の暑い盛りの草取り、そして収穫までの作業を体験してもらいます。家畜分野では、豚の飼育から始めその屠殺、その肉を使ってのソーセージ作りを行います。酪農分野では搾乳実習から始め、その製品加工として皆さんの大好きなアイスクリームやバター作りにも挑戦します。そして最後は、全学実習で自らが生産した豚肉やジャガイモ、とうきび、ソーセージなどを食材として、この畜産大学の青空のもと、一生の友となる仲間と指導の先生方と一緒に、バーベキュー・パーティーを楽しむのです。そうです、まさに畜大版「銀の匙」の世界がそこにはあります。

私たちの日常の食卓に上る食べ物は、農場や畜舎で育てられ、食品加工を経て食料材料となり、食品店に並ぶのです。畜産大学に入学したさんは、か



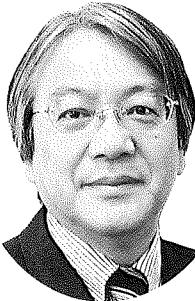
### 修

まぼこや魚の切り身がそのまま海の中を泳いでいるとは思っていないでしょうが、現代人の中には、レトルトパックが泳ぐとは思っていなくても、魚の切り身からその魚の原型を想像できる人は少ないでしょう。また、夏の風物詩である枝豆が、実は大豆であることを知らない人も数多くいます。こんな農畜産の世界を実体験できるのが、全学農畜産実習なのです。また、この農畜産実習を通して、自分の卒業論文のテーマを探ることもできるのです。

また、この実習を通して、畜産科学課程のさんは、自分の進むユニットを探ってほしいと思います。

今年度からは、そのユニットもより専門分野を明確にするため、家畜生産科学、環境生態学・食品科学、農業経済学、農業環境工学、植物生産学の6ユニットに改編されます。入学したばかりのさんは、このユニットの中身が十分把握できないと思います。そこで、畜産科学課程では、全学実習に関連した各ユニットの先生方による農畜産学概論Ⅰ～Ⅵを1年次に開講し、実習と座学の連携により、さんの進むべき道を導きます。さんは、すでに「私はこのユニットに進みたい」と思っているかもしれません。しかし、農学は総合科学です。いろいろな分野が相まってさんの口に入る命の源を生産しているのです。その基礎となる他分野の講義もよく聞いて、これまで自分が思っていた学問と他分野の学問も比較してもらいたいと思います。そのうえで、2年次でのユニット分属に臨んでほしいと思います。

最後に、入学したさんは、大学生活もいろいろな困難が立ちはだかっていますが、常に自分の夢を見失わず、たくさんの仲間を作り、前向きで学生生活を送ることを切に願っています。



教授  
佐藤禎穂



別科の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。青春の1ページとなる帯広畜産大学によこそ！

別科（草地畜産専修）は、地域の農畜産業を実践的に学ぶことにより地域社会をリードするような農業後継者の養成を創設の理念として1960年4月に設置されました。本学は、畑作と畜産を主とする帯広・十勝に立地し、食関連分野の教育研究を担う重要な使命を持っております。別科創設の当初は1学年20名の定員でスタートし、現在は30名の定員となり、本年で55年目を迎えました。これまでに、別科を修了した学生は1100名を超え、国内外を問わず、特に北海道の農業経営者や公共団体、企業など、食関連産業の指導者や技術者として第一線で活躍しております。

別科教育は、将来農業への従事を希望する学生に対して、酪農畜産、畑作農業を中心とする畜産科学の基礎と実践的な教育を2年間で行っております。本学の別科は、短期大学ではありませんが、畜産学部（共同獣医課程および畜産科学課程）と畜産フィールド科学センターの教職員も含めて、全学をあげた教育支援体制が整備され、短期大学に勝るとも劣らない高い専門性を有した実学重視の教育が展開されています。また、本学のキャンパスは我が国の農業をリードする十勝地方の大規模農業地帯を背景としており、試験研究機関や種々の農業関連団体、企業なども立地しており、極めて恵まれた環境です。

教育カリキュラムは基礎学術科目と専門教育科目で構成されており、基礎学術科目では一般教養である人文・社会科学、語学、自然科学および体育などがあります。また、専門教育科目では畜産学、解剖学、繁殖学、草地学、作物学、栄養学などの関連科

目をはじめ、農業機械学や農業経営学などの関連科目、およびこれらの科目とリンクした総合実習科目で構成され、極めて充実した講義・実習を受けることができます。また、「家畜人工授精師（牛）」や「認定牛削蹄師」の資格も取得できます。このように多くの科目をわずか2年間で履修しなければならないので、皆さんにとって大変なことだと思いますが、多くの諸先輩方はこれを達成し、現在地域農業の第一線で活躍しております。

また、1年生の「夏季農家実習」では、実際の農家に泊まり込みで3週間滞在し、農作業を体験します。2年生の「特別実習Ⅱ」では、夏季に3泊4日の日程で研修旅行を行い、北海道内の特徴的な農家や農業試験場、農業関係施設などを見学して農畜産業についての見聞を広めます。さらに、2年生の「特別研究」では、全学の教員の指導の元で、学生同士でグループを作り、自分たちで研究テーマを選定し、研究計画の立案、データ収集と結果の分析を行い、論文としてまとめて特別研究発表会での口頭発表や「草地畜産専修報告」に掲載します。この特別研究にはほぼ1年間要しますが、この期間に学生同士の交流と相互理解が深まり、社会人として生きていくために必要な素養を身につけることになります。

このように、本学の別科教育は多岐に及びますが、サークル活動やアルバイトなども学生生活のひとつです。わずか2年間の在学となりますが、農業を志す皆さんにとって有意義な学生生活になることを心から願っております。また、別科の学生は農家や農業高校出身者が多いのですが、最近は全く農業を経験していない学生も増えて来ておりますので、お互いに協力し合いながら共に良き学園生活になるよう心から祈念しております。

## 在来生所感



共同獣医学課程 2年  
前 潤之介

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。帯広畜産大学へようこそ！皆さんは大学生活の中で、どんなことをしてみたいですか？まだまだイメージが湧かないかもしれません、大学生活は楽しいイベントで盛りだくさんです。これからは学内外を問わず様々な活動にふれる機会があるので、興味があるものには積極的に参加してみて下さい。

僕自身も、意識的にそのような姿勢を大切にしてきました。僕はもともと引っ込み思案なところがあり、自由な大学生活のなかでもおどおどして何もできないのではという不安がありました。しかし、憧れの大学、憧れの北海道に来たことをきっかけに、

少しでも自分を変えてみたいと思い至りました。そして、自分の名字をなぞって「迷ったら前に出ろ！」を座右の銘とし、これまで様々なことに挑戦してきました。春先には獣医学生の交流合宿「ハロベテ」に参加し、北大や酪農大、岩手大などの友達ができました。夏には京大で開かれた「野生動物医学会」に出席し、現役の獣医さんや動物園で働く方々の声を聞くことができました。サークル活動においては、時にエゾリスを解剖し、時にダチョウ肉でハンバーガーを作り、学祭やオープンキャンパスでは運営に首を突っ込み、またある時には昆虫採集のために深夜徘徊と、とにかく色々なことをした一年となりました。

今思うと、その一つ一つが貴重な経験です。当時は面倒だと感じていたり、失敗して落ち込んだりしましたが、今となっては全部笑い話です。皆さんも、面白いという感じるものに対して貪欲にかつ愚直にチャレンジしてみてはいかがでしょうか。



畜産科学課程 2年  
佐々木拓也

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。こうして新入生へのメッセージを自分が書いていると思うと、本当にあつという間の1年でした。私が1年の大学生活を通して気付いた点いくつか紹介させて頂きます。

早速ですが、大学生活を楽しむコツから。皆さんご存知だと思いますが、大学にはサークルがあります。これは高校の部活と違い、顧問やコーチに指導して頂くのではなく、先輩から後輩へ・同級生の間で教え合いながらレベルアップを図ります。顧問の先生やサークルによっては外部コーチの方もいらっしゃいますが、学生中心であるのが特徴です。また、

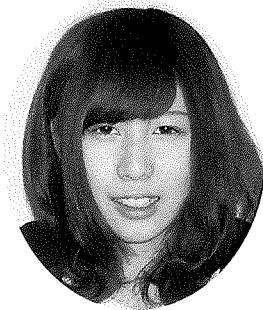
大学では多くの人が兼部をしています。「どっちも好きだけど選べない」「やったことないけどやってみたい」という人は遠慮せず、欲張って挑戦してみて下さい。

次に学習面についてです。大学はテストももちろんありますが、レポート課題によって成績を付ける講義も多くあります。課題は様々ですが講義中に興味を持ったことは調べておくと後々役に立つかもしれませんよ。

今更ですが、私は農業高校から畜大に入学しました。単純に一般高校の半分しか一般教養を習って来なかつたため、土台作りとして農高生対象の入門科目もあります。しかし、それだけでは追いつけない事もあり、そこでお勧めしたいのがチューター制度です。学内での家庭教師のようなもので、わからぬことを優しく丁寧に教えて頂けます。初めは自分のレベルの低さが恥ずかしくて嫌でしたが、教えて頂くことで自信も付くので活用してみて下さい。

大学生活は自由な時間がたくさんあります。勉強・サークル・パート等々、自分に合った時間の使い方をして充実した学生生活を送りましょう。

## 在来生所感



畜産科学課程 2年  
**岩木 夏海**

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。私も皆さんと同じように入学してからもう一年が経ちます。入学式が終わるとすぐに右も左も分からぬ世界に放り出され、新しい事々と格闘し、試行錯誤の毎日が続きました。きっと私のようになる人も少なくないはず……。好調な大学生活をスタートしてもらいたいな、ということで生活する上で感じたことを少し紹介したいと思います。

まず、目標への計画を立てることです。きっと何かしらの目標、夢を持って畜大に来たと思います。それを目指していくために、自分が何を選択すれば

よいのか考えることができます。一年生がまず選択しなければいけないことは、履修する講義です。“何を選べばいいのか分かんないよ”とゆう人もいると思います。私がおすすめするのは“先輩に聞く”ことです！部活・サークルの新歓の時に話のネタとして聞いてみてください。きっと詳しく、時には面白い過去話も聞けると思います！

次に、どの部活・サークルで活動していくかです。入ろうなんて決めてない人もいると思いますが、少しでも自分の興味のあることややりたいこと、挑戦したいことがあれば入る価値はあると思います。新たな自分探しをしてみてください。大学生活を共に過ごしてくれる素敵な友達、先輩にも出会えると思います。

最後になりましたが、大学では新しいことや選択することばかりです。失敗も多いと思いますが、その中で自分に合ったものを見つけてみてください。



別科 2年  
**結城 歩美**

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。私たち別科は2年制で、他の畜産科や獣医科に比べるととても短い期間で勉強しています。1年生の前期から実習が多く、座学ではなかなか分かりにくいことや難しいことなども、実際に体験することで理解し、身につけることができます。トラクターを運転したり、搾乳をしたり、ほぼ全て将来に繋がることが別科では体験できます。1年生の夏休みには、各自で道内の農家さんに約1ヶ月間の実習に行きます。酪農家や肉牛農家、野菜農家など、自分が興味をもち、実習してみたいと思った農家さんに実習に

行くことができます。そこでは実際に仕事をして、様々なことを学ぶことができます。農家によっては牛のお産を目の前で見ることができたりと、貴重な体験をできることも農家実習の良いところです。また、休憩時間に買い物に連れて行ってもらったり、おいしいご飯を頂いたり、実習に行った農家さんの家族と仲良くなれることも楽しさの一つです。2年という短い期間で人工授精師と削蹄師の資格を取れることも別科の良いところです。私たちも資格の勉強はこれからですが、資格は持っていて損はないし、将来どこかで生きてくると思うので、新入生に負けないよう勉強に励みます。そして私が1番自慢できる別科の良いところは、仲の良さです。少人数の為すぐにみんなの顔と名前を覚えられて、また、毎日のようにみんなで同じ講義を受けているので、どのクラスよりも仲が良いと思います。新入生のみなさんとも、一緒に受ける講義も少なく、なかなか話をする機会も少ないかもしれません、別科同士として1年間という短い間で少しでも仲良くなれたら嬉しいです。

# 学位記並びに 修了証書授与式が行われる



去る3月20日（木）午前10時から本学講堂において平成25年度学位記並びに修了証書授与式が行われました。

式典に先立ち恒例であるマンドリンサークルによる演奏が行われ、多数の家族および教職員が見守る中、長澤秀行学長から獣医学課程、畜産科学課程、別科、専攻の代表に学位記並びに修了証書が授与されました。引き続き学長の告辞の後、来賓の由佐壽朗 同窓会会长から祝辞があり、帯広畜産大学逍遙歌が流れる中、式が終りました。

式が終了すると、少し緊張気味だった卒業・修了者達は、早速会場を後にしました。

外では、先輩の晴れ姿を祝おうと、花束を渡し大学生活の思い出話いやサークル活動の苦労話に華を咲かせていました。

本年度は、学科・課程合わせて224名、別科（草地畜産専修）12名、大学院各専攻合わせて42名の合計278名が、畜大での思い出を胸に社会へ巣立っていきました。



## ☆飲酒について☆

本学では未成年者の飲酒は、いかなる場合であっても禁止しています。また、未成年者への酒類の提供、飲酒の強要も禁止しています。

コンパ等で飲酒を強要された時は、未成年であることを伝え、はっきり断ってください。拒否したにもかかわらず飲まされた。断れず仕方なく飲んでしまった。等の事実があった場合は、学務課又は学生相談室で対応しますので連絡してください。

成人に達してアルコールを口にする場合も、下記のこと留意し、楽しく飲むよう心がけてください。

- 自分の適量を守る
- 周りに煽られても一気飲みをしない
- 飲酒後は車の運転をしない



## ☆悪徳商法にご注意！☆ (大学生は狙われています)

大学生は、社会との関連も深まり、経済活動範囲も広がりますが、社会的経験が乏しいことから様々なトラブルに巻き込まれる可能性が大きい年代です。親元から離れて自立した生活になり、学生本人があらゆる面で契約する機会が多くなります。

物品の購入、アパートの入居等、他人と契約する時は、事前に十分検討し、保護者等に相談したうえで行ってください。

万一、被害に遭った（思われる）場合は学務課に連絡してください。相談できる機関等を紹介します。

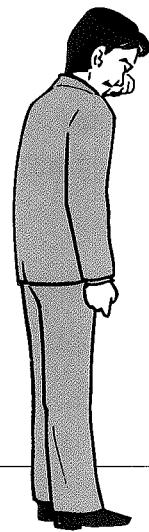
特に若者が被害に遭いやすい悪徳商法の一例は下記のとおりです。

- ワンクリック請求（パソコンや携帯電話のアダルトサイトで高額な料金を請求する）
- 無料商法（無料であることを強調して勧誘し、商品等を契約させる）
- サクラサイト商法（サイト業者に雇われた“サクラ”が芸能人社長などのキャラクターになりますし、メールの有料サービスを利用させ、その度に料金を請求する）
- デート商法（間違い電話、メール等で販売目的を隠して近づき、巧みな話術で好意を抱かせ、それに付けて込んで商品等の契約を行わせ、その後行方をくらます）
- マルチ商法（加盟店が新規加盟店を誘い、その加盟店が別の加入者を誘うという連鎖により組織を各大々し、新規加入者や配下の加盟店の支払う加盟料、商売上により自分の利益が増える仕組み。加盟店を勧誘できず、商品は売れず、損することが多い）
- キャッチセールス（繁華街等でアンケート調査と称して声を掛け、事務所等に連れて行き、不安を煽るなどして商品やサービスを契約させる）
- アポイントメントセールス（抽選に当たった、モニターに選ばれた、などと販売目的を明らかにしないで、事務所等へ呼びだし、契約しないと帰れない状況にして商品等の契約を迫る）

# 交通事故防止

## 加害者

1. 精神的苦痛
2. 刑事処分 例（懲役・禁固の実刑、罰金）
3. 行政処分 例（免許取消、免許停止）
4. 損害賠償 例（将来の生活を左右することも）
5. 大学の懲役処分 例（除籍、無期停学、停学）
6. 卒業の延期 例（国家試験の免許が得られないこともある）
7. 被害者の後遺症等に対する経済的補償



## 被害者

1. 精神的苦痛
2. 働き手を失い、経済的破綻等による将来の不安
3. 家庭が暗くなる
4. 家族がノイローゼ
5. 故人が、毎日夢に出てくる
6. 怒り



## 大学構内の交通規制等について

通学での自動車及びバイクの利用については、交通事故防止と教育・研究並びに環境の保全を目的として、一定の条件をもとに許可をしています。皆さんの通学には、徒歩、自転車、或いは公的交通機関を利用することをおすすめしています。

構内道路では、学生と思われる無断駐車が多数見受けられ、歩行者の通行を阻害する等、荷物の搬入、緊急車両の通行に支障が出ています。（駐車場の利用を希望する者は「駐車場使用許可申請書」を提出

し「駐車場許可証」の交付を受けてください）

また、マフラーの改造等による騒音で授業が一時中断される等教育・研究環境が損なわれつつあります。学外においても、本学学生による不法駐車に対する苦情が多くなっています。（特に隣接する民家等への無断駐車並びに路上への違法駐車は警察に通報が行われます）帯広畜産大学の学生として、良識ある行動を取るよう、切望します。